

平成28年度事業報告書

1 事業概要

1) 基本方針

公益財団法人那須塩原市農業公社は、栃木県那須塩原市において農地利用集積円滑化事業その他担い手の確保・育成等農業構造の改善に関する事業を行い、農業の生産及び販売基盤を強化し、農業の振興及び消費者への食の安定供給を図り、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的として次の事業を行った。

- (1) 農地利用集積円滑化事業
- (2) 農業者研修育成事業
- (3) 認定農業者育成事業
- (4) 農林業施設の管理運営事業
- (5) 都市農村交流促進事業
- (6) 農業情報の収集、分析及び提供事業
- (7) 地域農産物の研究開発及び商品化事業
- (8) シルバーファーマー事業（無料職業紹介事業含む）
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

2) 事業実績

(1) 農地利用集積円滑化事業【公1】

後継者不在により農業経営の維持が困難な高齢者の農家、規模縮小を図る兼業農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から受ける農地の有効利用についての相談に応じる一方、農業経営の規模拡大に取り組もうとする認定農業者をはじめとする地域農業の担い手から受ける農地集積についての相談に対して、農地利用集積円滑化団体として貸借借や売買といった農地の利用集積方法についてのアドバイスを行い、具体的な利用権設定及び所有権移転への方向へ導き、農地の面的集積及び流動化の推進に努めた。

また、昨年度に引き続き、公益財団法人栃木県農業振興公社に設置された農地中間管理機構が実施する農地の貸借事業について、地域の実情に精通している当社が業務の一部を受託し、相談窓口の開設、機構集積協力金に絡む農地の貸付け、公募による農地の借受望者の受付等の業務を行った。

加えて、農地中間管理事業の促進を目的に、推進員1名を継続して雇用し、事業内容や制度の活用を周知するほか、農地の出し手や借受希望者の積極的な掘起しを継続して行った。

○合同受付・相談会開催日 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
利 用 権	黒磯	4/5, 7, 8	—	6/1, 3	7/5	—	9/5
	西那須野	4/4	—	6/2	7/6	—	9/6
	塩原	4/6	—	6/7	7/7	—	—
所有権移転		4/21	5/18	6/14	7/13	8/24	9/13

		10月	11月	12月	29.1月	2月	3月
利 用 権	黒磯	—	11/10	12/5	1/10	2/6	3/13
	西那須野	—	11/9	12/9	1/12	2/7	3/8
	塩原	—	11/8	12/7	—	2/8	3/15
所有権移転		10/26	11/16	12/14	1/17	2/22	3/14

○28年度利用権設定等実績（平成29年3月31日現在）

期末貸借総ストック

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
H28 期末総ストック	1,936	1,785.7	1,386.0	399.7
H27 期末総ストック(比較%)	1,757 (10.2)	1,653.3 (8.0)	1,260.0 (10.0)	393.3 (1.6)

当年度内集積実績

		件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
新規設定		148	136.6	121.6	15.0
再設定		315	275.2	232.6	42.6
前年度 (比較%)	新規	162 (△8.6)	159.6 (△14.4)	132.9 (△8.5)	26.7 (△43.8)
	再設定	233 (35.2)	206.0 (33.6)	169.8 (37.0)	36.2 (17.7)

①農地所有者代理事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から貸付先を特定しない旨の白紙委任を受け、委任契約の締結を実施した。

これに合わせ、農地所有者を代理して公社がその委任内容の受け手として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で賃貸借契約を実施した。

なお、新規設定件数及び集積面積が前年度に比べ減少しているのは、農地売買等事業を通じた賃貸借に切り替わったことが挙げられる。また、再設定件数及び集積面積が増えているのは、当年度において期間満了を迎える契約件数自体が多かったことが挙げられる。

○当年度内集積実績

		件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
新規設定		56	50.0	47.3	2.7
再設定		210	213.3	181.6	31.7
前年度 (比較%)	新規	70 (△20.0)	62.6 (△20.1)	51.4 (△8.0)	11.2 (△75.9)
	再設定	158(32.9)	152.5 (39.9)	120.6 (50.5)	31.9 (△0.6)

②農地売買等事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家の要請を受けて、農地の借受けに係る賃貸借契約の締結を実施した。

これに合わせて、その農地の新たな貸付先として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で貸付けに係る賃貸借契約の締結を実施した。

また、賃借料においては、借り手からの口座振替及び貸し手への口座振込に係る出納事務を年間を通じて適正に処理を行った。

なお、借入・貸付件数及び面積が前年度に比べ増加しているのは、農地所有者代理事業から農地売買等事業を通じての新規賃貸借が増えたことや、当年度において期間満了を迎える契約件数自体が多かったことが挙げられる。

○当年度内集積実績

		借入件数	貸付件数	面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)
新規設定		23	23	26.0	18.3	7.7
再設定		53	52	61.9	51.0	10.9
前年度 (比較%)	新規	13 (77.0)	13 (76.9)	10.6 (145.3)	9.2 (98.9)	1.4 (450.0)
	再設定	39 (35.9)	36 (44.4)	53.5 (15.7)	49.2 (3.7)	4.3 (153.5)

○当年度内取扱実績

	借り手振替件数	貸し手振込件数	賃借料
平成28年度	248	256	41,205千円
前年度(比較%)	243 (2.1)	235 (8.9)	41,553千円(△0.8)

③農地中間管理事業

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、県農業公社から農地中間管理機構を通じた農地の貸借事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家からの農地の貸付けに関する相談等に応じ、農地中間管理機構を通じた農地の貸付けや機構集積協力金の活用について支援を行った。

これに合せて、自身の農業経営の規模拡大を希望する認定農業者や新規就農者等からの農地の借受けに関する相談に応じ、農地中間管理機構が公募する農地の借受希望者としての申請や、農地の出し手とのマッチング等の支援を行った。

加えて、事業推進員が各農家、農業委員及び地区推進員を訪問し、事業の普及活動や地域の農地の異動状況等の情報収集を行ったほか、人・農地プランに基づいて農地の貸付希望者や借受希望者の積極的な掘起しを行った。

なお、借入・貸付件数及び面積が前年度に比べ減少しているのは、農地中間管理機構のメリット措置である機構集積協力金の交付要件変更の影響を受け、農地所有者代理事業や農地売買等事業を通じての賃貸借へ流れたことが挙げられる。

○当年度内集積実績

	借入件数	面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)
平成28年度	46	60.6	56.0	4.6
前年度(比較%)	66 (△30.3)	86.4 (△29.9)	72.3 (△22.5)	14.1 (△67.4)

○借受希望者の公募状況

	市内農家数	市外農家数
平成28年度	91	3
前年度(比較%)	117 (△22.2)	4 (△25.0)

○推進員活動状況

- ・実施期間 平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日
- ・推進員数 1名
- ・活動日数 延べ 106日 (588時間)
- ・活動距離 延べ 4,441km
- ・訪問者数 次表のとおり

訪問先	訪問者数 (回数)
農地の出し手 (農地の貸付希望者)	121 (187)
地域の担い手 (認定農業者)	37 (77)
その他 (農業委員、地区推進員)	6 (17)

※訪問者数に対し訪問回数が多いのは、1名の所へ複数回訪問しているため。

④農地売買等事業 (特例事業)

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、県農業公社から農地中間管理事業の特例事業として農用地のあっせんに係る事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有している非農家からの農地売却に関する相談等に応じ、対象農地の現況確認や買受予定者との調整を行った。

これらの調整結果について、県農業公社へ情報提供を行い、農地売却を希望する農家への支援を行った。

また、自身の農業経営改善計画の一策として保有する農地の規模拡大を目指す農業者の農地の買受けに関する相談等に応じ、適宜アドバイスや情報提供を行った。

○当年度内集積実績

	件数	面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)
所有者から県公社へ売渡し	17	21.4	7.7	13.7
前年度(比較%)	19 (△10.5)	17.3 (23.7)	9.9 (△22.2)	7.4 (85.1)
県公社から担い手へ売渡し	17	21.4	14.3	7.1
前年度(比較%)	20 (△15.0)	20.8 (2.9)	11.8 (21.2)	9.0 (△21.1)

⑤機構集積協力金推進事業

農地中間管理機構を通じた農地の貸付けの相談時には、機構集積協力金の制度の説明を行うとともに、対象者の受給要件の確認や調査業務を適正に行い、協力金活用の推進を図った。

○機構集積協力金交付実績

	交付額 (対象戸数)	交付内容
経営転換協力金 (猶予措置期間単価)	900,000 円 (3)	50a 未満 / 300,000 円
	3,000,000 円 (6)	50a～1ha / 500,000 円
経営転換協力金 (変更後単価)	1,952,500 円 (8)	50a 未満 : 10a / 50,000 円
	4,000,000 円 (8)	1ha～2ha / 500,000 円
	2,800,000 円 (4)	2ha 以上 / 700,000 円
耕作者集積協力金 (猶予措置期間単価)	1,670,000 円 (5)	10a / 20,000 円
耕作者集積協力金 (変更後単価)	823,000 円 (6)	10a / 10,000 円

※猶予措置期間の単価…交付単価変更に伴う影響緩和として設けた期間限定の単価

(2) 農業者研修育成事業【公1】

農業・農村の活性化を図るために、地域の中心となる農業担い手の積極的な農業経営の参画や魅力ある農業経営の確立が重要視される中、これらの対応策として次の事業を行った。

①農業経営改善講演会の開催【公1】

経営管理能力の向上、農業農村の活性化及び農業の持続的発展を図ることを目的に、地域農業者に講演会、講習会、研修会等の受講の機会を与え、積極的な参加促進を図った。

また、担い手の高齢化や後継者不足、農産物価格の低迷等、国内農業が直面する様々な課題を解決するための糸口として、本市の農業者が最新の情報を取得し経営管理能力向上の一助とすべく、有識者を招いて農業経営改善講演会を開催した。

開催日	内 容	人数
12月12日(月)	農業経営改善講演会(会場:いきいきふれあいセンター) 「魅力増す農業・農村の実現に向けて」JA改革の取組と農政の方向性 講師:栃木県農業協同組合中央会担い手サポートセンター長 生澤 良一氏	110名

②農業者海外研修派遣事業【公1】

次の時代を担う青年農業者を海外に派遣し、海外先進農業事情等について調査研究を行うことにより、今後見込まれる農産物等の貿易自由化に向けた生産性の効率化や農業の大規模化等国際化の進展に対応できる優れた担い手を育成するための海外研修事業を行った。

栃木県農業振興公社主催の短期研修については、参加者1名がヨーロッパ3か国の様々な農業経営のあり方を視察し、大規模農業経営、減農薬栽培や有機栽培への取組、食の安全性へのこだわり、生産・加工・販売の確立等について学んだ。

また、公益社団法人国際農業者交流協会主催の長期研修については、平成27年3月からアメリカ合衆国において酪農を中心とした大規模農業経営と最新技術などを学んでいた参加者1名が、平成28年10月に研修を終えて帰国した。

帰国後は、両名とも市長への報告を行ったほか、平成28年12月には那須野が原青少年クラブ協議会主

催の実績意見発表会、平成29年1月には那須地方農業者懇談会で実施報告を行ったほか、総まとめとして平成29年2月に農業経営改善計画審査会の中で実施報告を行った。今後においては地域農業の発展のために活発な活動が期待できるものとする。

研修期間	内 容
H28. 9. 26 ~ H28. 10. 5	短期海外派遣研修 (オランダ、スイス、ドイツ) 参加者名：齋藤 理江 (市内接骨木/水稲、和牛繁殖)
H27. 3. 20 ~ H28. 10. 4	長期海外派遣研修 (アメリカ合衆国) 参加者名：永森 啓太 (市内埼玉/酪農)

③農村生活研究グループ協議会活動支援【公1】

市内の女性農業者や女性認定農業者等で構成する農村生活研究グループ協議会の事務局として、協議会への活動支援を行った。

農村生活研究グループ協議会は会員相互の連絡協調を密にし、男女共同参画の推進、地産地消メニューの開発、食育活動などを通じ、農村女性の社会的、経済的地位の向上を図ることを目的に各事業を行った。市協議会活動に加え、那須地区、県協議会主催の事業へも積極的に参加した。

また、今年度は那須塩原市の特産品である牛乳を研究対象とした地産地消レシピ作りを行い、レシピ集を発行した (発行部数 500 部)。

平成28年度の会員数は25名である。

○農村生活研究グループ協議会活動内容

(1) 会議関係

開催日	事業名	内 容	人数
5月9日(月)	会員全員 検討会	平成28年度活動計画について	12名
10月5日(水)	第1回役員会	産業文化祭について 視察研修について	4名
3月6日(月)	第2回役員会	定期総会について 平成29年度事業計画について 平成28年度会計監査について	5名
3月16日(木)	平成28年度 定期総会	平成28年度事業報告・決算承認 平成29年度事業計画・予算(案)について 那須塩原市農村生活研究グループ協議会用慰金内規について	18名

(2) 事業関係

開催日	事業名	内 容	人数
5月9日(月)	乳製品料理持ち寄り品評会	会員が作った乳製品を使った料理の研究、品評	12名
7月1日(金)	料理講座「牛乳レシピ研究」	地域特産である牛乳を使った料理講座。「鮭とカッテージチーズのホエイ炊き込みご飯」「カッテージチーズの温野菜サラダ」「ヨーグルトサラダ」を作成	12名

開催日	事業名	内 容	人数
7月9日(土)	親子クッキング講座事前準備	三島小育成会親子クッキング講座の講師として「うどん」レシピの研究	8名
8月6日(土)	三島小育成会親子クッキング講座	三島小育成会47名への料理指導、食育講話「手打ちうどんバンバンジー風味」「みかんのレアチーズケーキ」を作成	9名
9月13日(火)	三島小「食育・おにぎり作り講座」	4年生を対象に食育講話・紙芝居、寸劇、おいしいおにぎりの握り方の指導	9名
9月14日(水)	稲村公民館「はつらつ講座」	～地産地消のものをおいしくいただく～講師 地域特産品である乳製品を使ったお料理の指導を稲村公民館講座受講生へ行った(25名参加)	3名
9月17日(土)	牛乳料理コンクール栃木県大会	牛乳普及協会が主催するオリジナルレシピコンクールへ応募したところ、応募総数595点の中から最終選考10点に選ばれ、「ホエイゼリー白玉カッターチーズのせ」を作成 優良賞受賞	2名
9月28日(水)	大原間小「食育・おにぎり作り講座」	4年生を対象に食育講話・紙芝居、寸劇、おいしいおにぎりの握り方の指導	6名
10月15日(土)	産業文化祭事前準備	産業文化祭で販売する商品の準備	13名
10月16日(日)	産業文化祭	「いも汁」「豆おこわ」「ジュース」の販売	10名
12月8日(木)	豊浦小「食育・おにぎり作り講座」	4年生を対象に食育講話・紙芝居、寸劇、おいしいおにぎりの握り方の指導	10名
12月16日(金)	料理講座「牛乳レシピ研究」	地域特産である牛乳を使った料理講座。「とろとろクリーミーみるくコロッケ」「ねぎのミルクポタージュ」を作成	16名
1月31日(火)	研修旅行	茨城県ひたちなか市方面 「ポケットファームどきどき」 「ひたちなか干し芋センター」	17名
3月16日(木)	認知症サポーター養成講座	認知症サポーターに認定 オレンジリング配布	18名

(3) 那須地区農村生活研究グループ協議会関係

①那須地区会議関係

開催日	事業名	内 容	人数
4月14日(木)	那須地区農村生活研究グループ協議会第1回役員会	平成28年度活動計画について 他	2名
6月10日(金)	那須地区農村生活研究グループ協議会第2回役員会	食と農の交流会について 活動交流交換会について	3名
10月19日(水)	那須地区農村生活研究グループ協議会第3回役員会	活動交換会等についての協議	3名
1月20日(金)	那須地区農村生活研究グループ協議会第4回役員会	定期総会について リーダー研修会について	3名
3月7日(火)	平成28年度那須地区農村生活研究グループ協議会定期総会	平成28年度事業報告・決算承認 平成29年度事業計画・予算(案) 役員承認について	7名

②那須地区事業関係

開催日	事業名	内 容	人数
9月2日(金)	地元食材で食と農の交流会	お米、夏野菜、牛乳などの那須地区の農産物の魅力を存分に活かしたアイデア料理の調理実習、試食交流(31名参加)	5名
12月1日(木)	活動交換会事前準備	発表内容の確認、練習	2名
12月7日(水)	活動交換会	代表2名による意見発表 室井孝美氏「私が農家になった理由」 和氣宏子氏「きっかけは母の言葉から」 成果品の販売	13名
3月7日(火)	農村生活研究グループリーダー研修会	食物アレルギーの基礎知識 講師：NPO法人アトピッチ地球の子ネットワーク専務理事 赤城智美氏	7名

(4) 県農業生活研究グループ協議会関係

開催日	事業名	内 容	人数
8月31日(水)	栃木県農村生活研究グループリーダー養成研修会	「とちぎ食育プラン2020について」 「グループ別意見交換」 ・地産地消・伝統食の継承 ・食を通じた起業活動 ・地域における食育活動	3名
2月6日(月)	アグリライフフォーラム2017	各地区代表の研究活動発表・意見発表を聞く	10名
3月24日(金)	県農村生活研究グループ協議会定期総会	平成28年度事業報告・決算承認 平成29年度事業計画・予算(案)	2名

(5) 関係機関団体との連携

開催日	事業名	内 容	人数
6月3日(金)	那須地方農村女性会議第15回定期総会	平成27年度事業報告 収支決算承認 平成28年度事業計画 収支予算について 他	3名
6月3日(金)	農業・農村男女共同参画推進研修会	第四期とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョンについて 講演会：ヨーロッパ男女共同参画視察に参加して～小沼伸枝氏	3名
8月18日(木)	農業・農村におけるワークライフバランス推進研修会(那須地方農村女性会議)	「農業におけるワークライフバランスの実現」講師：近藤千園氏(C.Kコンサルティング&コーチング代表)	11名
11月18日(金)	農村女性リーダー研修会(那須地方農村女性会議)	自家生乳のチーズ加工販売の取組について 那須町：今牧場チーズ工房 高橋ゆかり氏 地産地消カフェ、里づくりプロジェクトによる地域活性化の取組について 那須町：遊行茶屋 大平夏澄氏	5名
11月28日(月)	那須地方農政講演会	「那須地域におけるヒト・モノ・コトの交流拡大」講師：東日本旅客鉄道 笹川俊也氏	10名
1月25日(水)	新春懇談会(農業者懇談会)	基調講話「農業者組織活動に期待すること」 那須地方農業者懇談会構成組織等の活動・取組発表	2名

(3) 認定農業者育成事業【公1】

経営感覚に優れ、効率的かつ安定的農業経営を目指す中核的農業経営体を育成するため、農業関係機関と連携を密にしなが、認定農業者の経営改善相談等育成・支援と併せて、新規に認定農業者の資格取得を希望する農業者に対して、経営改善計画作成の支援を実施した。

加えて、認定農業者への各種情報の周知手段として、認定農業者の資格を有する者で認定農業者の会を組織化し、かつ、その強化を図り、会が中心となって講演会、講習会、研修会等を開催し、認定農業者の資質の向上に努めた。なお、会の事務局を公社が担うことで会の運営全般について支援に当たった。

①農業経営改善計画書の作成支援及び審査【公1】

認定農業者の認定期間満了に伴う再認定を希望する農業者や新規認定を希望する農業者に対して、農業経営改善計画書の作成指導会を適宜開催し、認定農業者の確保及び新規認定農業者の発掘を図った。

提出のあった農業経営改善計画書については、関係機関で組織する審査会において計画書の内容について審議し、審議の結果認定相当となったものについては、那須塩原市長へ進達を行った。

加えて、経営改善計画の後押しを目的に平成25年に国が策定した新たな経営指標については、認定日から5年目を迎えた認定農業者については、経営改善計画書の更新時に取組状況の確認を行い、今後の農業経営改善計画に指標を十分に活用する旨周知を図った。

なお、資格更新者が一部減少した一方で、補助事業活用等に伴う新規申請や期限切れの農業者へ手続の周知、指導を徹底したことで、認定農業者の総数は横ばいとなっている。

○認定農業者数の推移 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
認定農業者数	640	638	641	640	638	637
(当月認定者数)	(22)	(14)	(20)	(18)	(10)	(3)
	10月	11月	12月	29.1月	2月	3月
認定農業者数	642	639	639	642	641	640
(当月認定者数)	(8)	(4)	(7)	(9)	(5)	(11)

○認定農業者数(地区別) (平成29年3月31日現在)

	黒磯	西那須野	塩原	合計
29年3月末	394	140	106	640
平成28年度内認定(新規)	82(17)	28(3)	21(9)	131(29)
28年3月末(比較%)	398(△1.0)	142(△1.4)	105(1.0)	645(△0.8)

○新たな経営指標への取組状況

認定5年目(平成23年度認定) 102名(再認定の更新時に確認)

○集合指導会開催日 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
黒 磯	4/5, 7, 8	—	6/1, 3	7/5	—	9/5
西那須野	4/4	—	6/2	7/6	—	9/6
塩 原	4/6	—	6/7	7/7	—	—
審査会	4/22	—	6/10	7/4	8/8	9/30
	10月	11月	12月	29.1月	2月	3月
黒 磯	—	—	12/6, 8	—	2/6	3/14
西那須野	—	—	12/9	—	—	—
塩 原	—	—	12/7	—	2/8	3/15, 23
審査会	—	—	12/27	—	2/24	3/27

②認定農業者の育成・支援及び認定農業者の会の運営【公1】

認定農業者に有利となる各種施策や制度、農地情報等について逐次情報提供を行った。

また、認定農業者の資質向上や各種情報の周知手段を目的として組織する認定農業者の会の事務局を公社が担った。なお、昨年度の反省点を踏まえながら適宜役員会と班長会議を開催し、新たな事業の実施検討及び意見交換を中心に会の円滑な運営に努めた。

全体事業としては、会員の資質向上を目的とした活動として、岐阜県で開催された第17回全国農業担い手サミットへの参加のほか、県内外の先進農家や関連施設の視察、6次産業化振興イベントの視察等を実施した。また、地域事業としては、農業への理解及び地域貢献を目的とした活動として、各種イベントにおける認定農業者が生産した農産物のPR事業や小学生の親子を対象とした農業収穫体験事業等各地区の特色を生かした事業を開催した。

その他、当公社が開催する農業経営改善に関する講演会や講習会、県北3市町の認定農業者の会で組織する那須地区認定農業者協議会主催の事業にも積極的な参加を図った。

○認定農業者の会研修

開催日	内 容	人数
4月25日(月)	那須地区認定農業者協議会第1回役員会	2名
5月20日(金)	第1回役員会	11名
6月13日(月)	第1回班長会議(西那須野・狩野地区)	9名
6月15日(水)	第1回班長会議(東那須野地区)	8名
6月16日(木)	第1回班長会議(高林地区)	13名
6月17日(金)	第1回班長会議(鍋掛地区)	8名
6月17日(金)	第1回班長会議(黒磯地区)	6名
6月20日(月)	第1回班長会議(箒根地区)	8名
7月8日(金)	那須地区認定農業者協議会視察研修会	7名
7月26日(火)	先進地視察研修会(福島市の酪農施設、郡山市の果樹農家)	25名
8月19日(金)	6次産業化視察研修会(アグリフードEXPO2016他)	7名

開催日	内 容	人数
8月27日(土)	黒磯地区事業(枝豆収穫体験)	7名
8月29日(月)	農業委員との意見交換会(黒磯、鍋掛、東那須野地区)	3名
8月31日(水)	農業委員との意見交換会(西那須野、狩野地区、高林、箒根、塩原地区)	8名
10月12日(水)	東那須野地区第2回班長会議(地区事業の実施について)	10名
10月16日(日)	西那須野・狩野地区事業(農産物PR:畜産フェア会場で新米つかみどり、牛乳試飲)	7名
10月21日(金)	箒根地区第2回班長会議(地区事業の実施について)	8名
10月22日(土)	東那須野地区事業(農産物PR:巻狩まつり会場で新米つかみどり、おにぎり試食)	12名
10月24日(月)	高林地区第2回班長会議(地区事業の実施について)	12名
10月29日(土)	鍋掛地区事業(野菜収穫体験:さつまいも・なす収穫体験、新米つかみ取り)	10名
11月3日(木)	東那須野地区事業(農産物PR:JR那須塩原駅構内で新米無料配布)	8名
11月6日(日)	箒根地区事業(農産物PR事業:アグリパル塩原収穫祭で新米つかみどり、牛乳試飲)	8名
11月9日(水)~10日(木)	全国農業担い手サミット in ぎふ(岐阜市で全体会、大垣市・海津市で現地視察他)	10名
11月13日(日)	高林地区事業(農産物PR:道の駅「明治の森・黒磯」感謝祭で新米つかみどり、牛乳試飲)	12名
11月24日(木)	平成28年度栃木県農業担い手躍進大会(パーティとちぎで優良担い手表彰式、講演会)	6名
11月29日(火)	第2回役員会(今後のスケジュールについて他)	12名
12月12日(月)	農業経営改善講演会	110名
12月15日(木)	次期役員選考に係る地区会議(青木地区)	6名
1月17日(火)	那須地区認定農業者協議会第2回役員会	3名
1月25日(水)	次期役員選考に係る地区会議(高林地区)	5名
1月27日(金)	次期役員選考に係る地区会議(戸田地区)	10名
2月2日(木)	次期役員選考に係る地区会議(鍋掛地区)	7名
2月8日(水)	次期役員選考に係る地区会議(箒根地区)	5名
2月10日(金)	次期役員選考に係る地区会議(東那須野地区)	6名
2月11日(土)	鍋掛地区事業(干しいも加工体験、おにぎり試食)	8名
2月12日(日)	次期役員選考に係る地区会議(黒磯地区)	6名
2月23日(木)	全体研修会(大規模太陽光発電施設、6次産業化(加工)施設他)	39名
2月27日(月)	次期役員選考会	17名
3月7日(火)	次期役員選考会	6名
3月8日(水)	那須地区認定農業者協議会視察研修会(平成28年度日本農林漁業トップリーダー発表会)	2名
3月10日(金)	西那須野・狩野地区合同会議	6名
3月10日(金)	第3回役員会、平成28年度会計監査	12名
3月14日(火)	那須地区認定農業者協議会第3回役員会	4名
3月22日(水)	平成28年度定期総会、農業経営改善研修会	107名
3月24日(金)	那須地区認定農業者協議会定期総会	4名

③青年等就農計画認定審査及び青年就農給付金承認審査【公1】

農業者の高齢化に伴い新たな担い手の確保が急務となる中、農業経営に意欲的に取り組む農業後継者や青年等就農者の確実な定着と育成を目的とした事業への新たな取組を行った。

具体的には、非農家の就農希望者や農家子弟の新規就農者からの相談に対し、新規就農者向けの様々な制度(認定新規就農者の資格取得、青年就農給付金)の紹介をはじめ、その活用方法について指導し、新たな担い手の発掘と確保に努めた。

○就農計画・給付金認定実績

青年等就農計画認定者数	2名
青年就農給付金認定者数	3名（経営開始型）
認定審査会開催数	4回（4/22、7/4、12/27、2/24）
新規就農相談者数	12名

(4) 農林業施設の管理運営事業【公2】

①青木ふるさと物産センター管理運営事業【公2】

青木ふるさと物産センターの指定管理者として、本市の農産加工・流通及び情報発信の拠点となる道の駅「明治の森・黒磯」の受託管理運営等を適切に行い、施設の機能を有効に活用しながら、地域農産物等の流通を促進した。

また、感謝祭や収穫祭といったイベントを実施し、農産物の消費拡大や安全・安心のPR等を行うとともに、市民への憩いの場を提供した。

平成28年度「明治の森・黒磯」利用状況

月	道の駅利用者数	利用者 前年比	売上高計	売上高 前年比	記念館	前年比
					青木邸有料入館者数	
4月	39,045名	105.8%	13,027,250円	109.7%	706名	110.8%
5月	54,985名	106.6%	19,283,068円	105.3%	1,569名	107.4%
6月	48,870名	117.2%	14,063,264円	116.2%	787名	96.3%
7月	57,390名	112.7%	17,567,641円	113.5%	1,203名	119.0%
8月	68,190名	99.5%	24,247,929円	103.0%	1,937名	110.1%
9月	59,715名	108.9%	17,240,122円	97.1%	1,370名	101.0%
10月	63,710名	108.6%	19,482,996円	102.7%	1,388名	63.4%
11月	46,725名	110.4%	14,416,600円	108.7%	1,286名	109.9%
12月	36,535名	108.6%	11,540,366円	106.5%	413名	135.0%
1月	21,770名	100.6%	7,023,567円	100.7%	203名	65.7%
2月	25,290名	107.9%	8,372,907円	109.2%	242名	70.6%
3月	34,620名	106.3%	12,114,667円	114.5%	536名	102.5%
計	556,845名	107.8%	178,380,377円	106.6%	11,640名	98.0%

※利用者数は推定、青木邸は実数である。

○イベント内容

開催日	イベント名	内 容	来客数
4月24日	春の感謝祭	割引販売 堆肥の無料配布 鍋、牛乳の無料配布 お楽しみ抽選会	3,180名
6月13日	姉妹都市提携調印式	オーストリアリンツ市との姉妹都市提携調印式	—
6月10日 ～7月10日	オーストリアフェア	オーストリアワイン、チョコ、パン、クッキーの販売	—
7月10日	那須高原ロングライド エイドステーション	飲料水、スポーツドリンク、牛乳、 きゅうりの漬物を配布	—
7月13日 ～7月19日	道の駅 in インターパ ーク (福田屋百貨店)	道の駅商品の販売	—
8月7日	夏の感謝祭	野菜の割引販売 牛乳無料試飲 堆肥の無料配布 オカリナコンサート	3,490名
8月20日	マロニエプラザ感謝祭 (マロニエプラザ)	道の駅PR 牛乳、パン、クッキーの試食	10,000名
8月31日	野菜の日	ボックスティッシュのプレゼント 野菜の割引販売 牛乳の無料試飲	2,310名
10月22日 ～10月23日	富山県滑川高校商業科 販売実習への協力	野菜、特産品の卸販売	—
11月13日	収穫祭	割引販売 堆肥、苗木の無料配布 鍋の無料配布 お楽しみ抽選会	3,510名
12月23日	クリスマスイベント	ホットミルクの無料配布 卵のつかみ取り 綿菓子の無料配布	1,800名
1月4日	初売り	おしるこの無料配布 福袋販売 お楽しみ抽選会	1,460名
2月4日 ～2月24日	昔の写真展 (ギャラリー)	那須野ヶ原博物館より借用した写真をギャラリーに 展示	300名
2月12日	バレンタインイベント	ポップコーンの無料配布 じゃんけんイベント 玉ねぎの詰め放題	1,470名
2月26日	ひな祭りイベント	甘酒、綿菓子、ポップコーンの無料配布 ひし餅抽選会 玉ねぎの詰め放題	1,730名

※来客数については推定である。

②青木ふるさと物産センターにおける収益事業【収1】

物産センター内の販売コーナーを使用し、市の特産品である牛乳、イチゴなどの仕入販売を行い、本市のPRや情報発信を行った。また、冬場の野菜不足解消のため商品の仕入販売、七夕・クリスマスツリー・つるし雛等季節の飾りつけをし、利用者の確保に努めた。また、野菜や加工品生産者のPOPを売場に設置し、生産者の顔の分かる売場を目指した。

ホームページやWiFi機能を生かし、現在の旬な商品の情報や那須塩原ブランド商品を紹介し、販売促進につなげた。

③道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務【収1】

市からの委託を受け、トイレ、駐車場など道の駅全体の良好な維持管理に努めた。また、ハンナガーデンに季節の花を植栽し、訪れる人へのやすらぎの場を提供した。

④とちぎ明治の森記念館維持管理業務【収1】

市からの委託を受け、国の重要文化財に指定されている旧青木家那須別邸の適切な管理を行った。また、文化財防火デーに合わせ、那須地区消防組合と合同での消防訓練も実施し、利用者が安心して施設を利用できるよう努めた。

(5) 都市農村交流促進事業【公1】

①ふれあい農園管理

都市住民の野菜等の栽培を通じて自然と触れ合いたいというニーズに応え、市内の遊休農地等の未利用農地を有効活用し、市民を対象としたふれあい農園を開設し、管理業務を行った。

利用者は、自然との触れ合いを通じて農業への理解を深め、農地所有者においても農作物の作付けや農作業の相談を受ける等、お互いに交流を図ることで都市と農村との相互理解を深めている。

管理面においては、農園の利用状況について適宜現地確認を行い、不良箇所の整備、利用者からの苦情等への対応を図った。加えてホームページで農園情報を公開し、空き区画への対応等利用率の向上に努めた。

○ふれあい農園利用状況 (平成29年3月31日現在)

	黒磯	西那須野	塩原	合計
農園箇所	6	6	2	14
区画数	103	179	33	315
利用区画数	88	177	25	290
利用区画数 前年度(比較%)	100 (△12.0)	179 (△1.1)	26 (△3.8)	305 (△4.9)

※黒磯地区の利用区画数の減少… 農園閉鎖に伴う新たな農園開設による影響等

②農業体験交流

農村資源の有効活用と農村地域の活性化を目的に、農業体験を含んだ都市農村交流ツアーやウォーキングイベントを県や市と協力しながら実施した。

また、地元の小学生に農業の体験、収穫の喜びを学んでもらうための収穫体験を実施したほか、認定農業者の会の地域事業と連携し、市内小学生の親子を対象とした農業収穫体験を行った。

開催日	事業名	内容	人数
6月30日(木)	青木小学校収穫体験	青木小学校3年生によるトマト収穫体験	14名
8月27日(土)	親子で集まれ野菜収穫体験	黒磯地区の小学生親子の枝豆収穫体験	12組 36名
10月25日(火)	青木小学校芋ほり体験	青木小学校2年生によるさつま芋体験	12名
10月29日(土)	親子で集まれ野菜収穫体験	鍋掛、東那須野地区等の小学生親子を対象としたさつま芋、ナスの収穫体験	12組 36名

10月30日(日)	田園ウォーキング	道の駅発着の田園ウォーキング	128名
2月11日(土)	親子で集まれ野菜収穫体験	鍋掛、東那須野地区等の小学生親子を対象とした干し芋加工体験	12組 36名

(6) 農業情報の収集、分析、提供事業【公1】

新聞やインターネット等様々な媒体を通じてより広く農業関連の情報の収集、分析及び提供を行い、農業経営の改善を推進した。

また、栃木県、那須塩原市、農業関係機関・団体との連携を密に行い、農用地や農業全般の情報、講演会、研修会開催周知の情報等を市の広報、チラシ等の配布を通じてより広く提供を行った。

加えて、昨今の情報化社会に対応すべく、公社独自のホームページにより広い情報発信を行うとともに、農地の賃貸借や認定農業者の申請に係る様式等もホームページから取得できるよう整備し、利用者の利便性を図った。

(7) 地域特産物の研究開発及び商品化に関する事業【公1】

地域の資源を活用した特産物を開発するための調査研究を行い、農産物の付加価値を高め、農家所得の向上と農村の活性化を図るため次の事業を行った。

箱の作成

① 地元農産物を使用した特産物の試作、研究開発

高松農園の高松氏から、那須塩原認定ブランド「味恋とまと」を使用した、高糖度トマトジュースの調査研究及び贈答用化粧箱作製のための申請書が提出され、事業終了後に助成金の交付を行った。

事業名	那須塩原認定ブランド「味恋とまと」を使用した、高糖度トマトジュースの贈答用化粧箱の新規作製に係る調査研究及び試作品の作製
団体名	高松農園
事業内容	独自の贈答用化粧箱の作製により、新規顧客の獲得を図る。また、既存のトマトジュースの差別化、ブランディングの向上を目指して行く。
実施期間	平成28年9月～平成28年12月
実施内容	首都圏で販売されている贈答用化粧箱の調査研究を行い、新たな贈答用化粧箱を100個作製した。

② 地元農産物及び加工品を活用したギフト作り

地元農産物及び農産物加工品を活用したギフト作りとして、道の駅「明治の森・黒磯」のお中元とお歳暮セットの開発・研究を行った。

○販売実績

	ギフト名	販売実績
お中元セット	青木季節の野菜詰め合わせセット	7個
お歳暮セット	青木ふるさとトマト鍋セット	27個
	とろろ雑煮セット	11個

③ 市ふるさと納税のお礼品の販売

ふるさと納税のお礼品として、道の駅「明治の森・黒磯」季節の野菜詰め合わせセットの販売を行った。

○販売実績

ギフト名	販売実績
季節の野菜詰め合わせセット	115 個
麦みそと野菜の詰め合わせセット	58 個
リンゴの箱詰め	46 個
梨の箱詰め	35 個

(8) シルバーファーマー事業【公1】

①シルバーファーマー養成支援塾

平成24年度から当公社が市農務畜産課から委託を受け、農業に関心があり、労働意欲が旺盛な60歳前後の市民を対象に、農業ヘルパーとして農家が求める労働者を養成するためのシルバーファーマー養成支援塾を開催した。塾生は、机上研修において農業全般に関する基礎知識を学び、^ほ実地研修において圃場で農業機械の操作や園芸作物の栽培を行い、農業者としての知識と技術の習得に努めた。

具体的な作業を経験するため、栽培農家での実地研修も行った。

実施期間	平成28年4月17日～平成28年12月4日		
受講者数	20名（男性18名 女性2名）		
研修場所	栃木県農業試験場黒磯農場		
実施回数	20回（机上研修・ ^ほ 圃場研修・実地研修）		
講師数	5名		
栽培作物	トマト、きゅうり、なす、ねぎ、にんじん、大根、白菜、セロリ、レタス		
実地研修	5/29	遅沢氏（西遅沢） ^ほ 圃場	なすの定植・誘引・支柱立て 18名参加
	7/31	小山氏（中塩原） ^ほ 圃場	大根の間引き・収穫・水洗い 18名参加
	10/16	益子氏（鍋掛） ^ほ 圃場	ほうれん草の追い撒き・除草 15名参加
収穫祭	11/5	鳥野目オートキャンプ場にて、 ^ほ 研修圃場で栽培した野菜を使用し、交流会を行った。	

②シルバーファーマーの活用

シルバーファーマー養成支援塾を受講した第1期生から第6期生までの人材登録者と、シルバーファーマー活用申請のあった農家とのマッチングを無料職業紹介所として行った。

(平成 28 年度)

シルバーファーマー養成支援塾修了生	148 名	男性 127 名 女性 21 名
シルバーファーマー人材登録数	116 名	男性 99 名 女性 17 名
シルバーファーマー活用登録件数	4 件	
マッチング件数	2 件	
マッチング人数	2 名	男性 2 名
継続勤務	12 名	

(9) その他目的を達成するために必要な事業

適切な管理・運営の実施

- I 公益目的事業の適切な実施のため、公益財団法人那須塩原市農業公社規程・規則・要綱等に沿った適正な事務及び経理の処理に努めた。
- II 貸借対照表その他計算書類等の事務所への備付け・一般への供覧により情報開示の適正性を高めるよう努めた。
- III その他公益財団法人としての適正な事業運営の推進に努めた。

〈法人管理〉

2 評議員会に関する事項

区分	開催年月日・場所	付議（決議）事項	
1回	平成28年5月26日 いきいきふれあい センター会議室	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社評議員の選任について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の選任について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成27年度事業の報告について
		議案第4号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成27年度決算の承認について
2回	平成28年12月22日 (決議の省略による。)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の選任について
3回	平成29年3月13日 那須塩原市役所 303会議室	報告事項	定期提出書類（事業計画書等）について
			字句修正に係る委任決議について
4回	平成29年3月28日 (決議の省略による。)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社特定費用準備資金等取扱規程の制定について
		議案第2号	特定費用準備資金の設定について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成28年度第1回補正予算の承認について
		議案第4号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成29年度事業計画書及び収支予算書等の承認について
		議案第5号	公益財団法人那須塩原市農業公社評議員の報酬に関する規程の一部改正について
		議案第6号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の報酬及び勤務に関する規程の一部改正について

3 理事会に関する事項

区分	開催年月日・場所	付議（決議）事項	
1回	平成28年5月10日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員候補者の推薦について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成27年度事業報告について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成27年度決算について
		議案第4号	定期提出書類（事業報告等）について
		議案第5号	字句修正に係る委任決議について
		議案第6号	公益財団法人那須塩原市農業公社定時評議員会（第14回評議員会）の開催について
2回	平成28年5月26日 (決議の省略による。)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社代表理事（理事長）の選定について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社業務執行理事（常務理事）の選定について

3回	平成28年8月25日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
4回	平成28年11月24日 那須塩原市役所 202会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
5回	平成28年12月20日 (決議の省略による。)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員候補者の推薦について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社第15回評議員会の開催について
6回	平成29年1月1日 (決議の省略による。)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社代表理事(理事長)の選定について
7回	平成29年2月22日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社特定費用準備資金等取扱規程の制定について
		議案第2号	特定費用準備資金の設定について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成28年度第1回補正予算について
		議案第4号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成29年度事業計画書及び収支予算書等について
		議案第5号	定期提出書類(事業計画書等)について
		議案第6号	字句修正に係る委任決議について
		議案第7号	公益財団法人那須塩原市農業公社評議員の報酬に関する規程の一部改正について
		議案第8号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の報酬及び勤務に関する規程の一部改正について
議案第9号	公益財団法人那須塩原市農業公社第16回評議員会の開催について		
8回	平成29年3月24日 (決議の省略による。)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社第17回評議員会の開催について

4 登記に関する事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
平成28年5月26日	宇都宮地方法務局	評議員、理事、代表理事及び監事の変更	平成28年6月7日
平成29年1月1日	宇都宮地方法務局	理事及び代表理事の変更	平成29年1月12日

5 栃木県知事への届出等に関する事項

届出等年月日	事項	備考
平成28年6月27日	定期提出書類(事業報告等)	県経営技術課
平成28年6月27日	変更届	県経営技術課
平成29年2月1日	変更届	県経営技術課
平成29年3月30日	定期提出書類(事業計画等)	県経営技術課

6 契約に関する事項

契約年月日	契約の相手方	契約の概要
平成 28 年 4 月 1 日	那須塩原市 農務畜産課	農用地利用集積事業、農業経営改善事業、農業経営基盤強化推進対策事業（機構集積協力金推進業務）、認定農業者の会活動支援事業、農業者海外研修派遣事業、市民農園管理事業、那須塩原市農村生活研究グループ協議会活動支援事業委託契約、青年就農給付金推進事業、青年等就農計画認定審査業務、青木ふるさと物産センター管理業務委託契約
平成 28 年 4 月 1 日	那須塩原市 生涯学習課	とちぎ明治の森記念館維持管理業務委託契約
平成 28 年 4 月 1 日	那須塩原市 道路課	道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務委託契約、道の駅「明治の森・黒磯」自動車用急速充電器維持管理業務委託契約
平成 28 年 4 月 1 日	(公財)栃木県 農業振興公社	特例事業業務委託契約
平成 28 年 4 月 1 日	(公財)栃木県 農業振興公社	農地中間管理事業業務委託契約
平成 29 年 3 月 1 日	那須塩原市 農務畜産課	農業者海外研修派遣事業変更契約

7 評議員に関する事項（平成 29 年 3 月 31 日現在）

氏名	就任年月日	備考
君島 寛	平成 28 年 3 月 14 日 就任	那須塩原市長
屋代 重夫	平成 27 年 6 月 4 日 就任	那須野農業協同組合代表理事組合長
榎本 建司	平成 27 年 6 月 4 日 就任	那須塩原市農業委員会会長
田代 仁	平成 24 年 10 月 1 日 就任	黒磯土地改良区事務局長
森 アサノ	平成 27 年 6 月 4 日 就任	前那須塩原市栃木県農業士会会長
松倉 民幸	平成 27 年 6 月 4 日 就任	那須塩原市認定農業者の会会長

8 役員に関する事項（平成 29 年 3 月 31 日現在）

役職	氏名	就任年月日	備考
理事長	片桐 計幸	平成 29 年 1 月 1 日 就任	那須塩原市副市長
常務理事	阿美 豊	平成 27 年 6 月 4 日 就任	(公財)那須塩原市農業公社事務局長
理事	松本 良則	平成 28 年 5 月 26 日 就任	前那須塩原市農業指導士会会長
理事	人見 みみ子	平成 28 年 5 月 26 日 就任	那須塩原市栃木県農業士会代表
理事	君島 良一	平成 27 年 6 月 4 日 就任	那須塩原市農業委員会会長職務代理者
理事	後藤 隆美	平成 28 年 5 月 26 日 就任	前那須野農業協同組合営農部長
理事	相馬 賢市	平成 28 年 5 月 26 日 就任	那須野農業協同組合黒磯営農経済センター課長
理事	大平和 広	平成 25 年 5 月 27 日 就任	酪農とちぎ農業協同組合那須高原支所長
監事	山田 勝己	平成 27 年 6 月 4 日 就任	那須野農業協同組合理事
監事	松江 孝一郎	平成 28 年 5 月 26 日 就任	那須塩原市会計管理者

9 職員に関する事項 (平成29年3月31日現在)

所 属 区 分		人 員	職 員 区 分				備 考
			市OB職員	農協派遣	公社職員	公社採用 臨時職員	
公 社 事 務 局	事務局長	1	1				
	係 長	2			2		
	係	6		2	2	2	
道 の 駅	所 長	(1)	(1)				事務局長兼務
	係	9				9	
計		18	1	2	4	11	